

自然と、ともに生きる。

平成28年熊本地震（以下及び裏面「熊本地震」）は、同一地域において震度7の揺れが28時間の間に2度発生するという、観測史上例を見ない大規模災害で、死者275人、負傷者2,739人、住家被害約20万棟など、県内に甚大な被害をもたらしました。また、熊本のシンボルである熊本城は大きく傷つき、阿蘇地域も至る所で土砂災害が発生し、道路や橋が寸断されるなど、大きな被害を受けました。

県及び9つの市町村は、熊本地震の経験や教訓を学び、風化させず確実に後世に伝承し、今後の大規模自然災害に向けた防災対応力の強化を図るため、県内各地に点在する震災遺構や拠点を巡る回廊形式のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」の取組みを進めています。

熊本地震の概要



熊本地震の特徴

- 観測史上初めて、同一地域において震度7の地震がわずか28時間の間に2度発生した。
- 発災から平成30年4月までの震度1以上の地震回数は4,400回を超えており、いつ発生するか分からない大地震への恐怖、長期継続する地震活動等により、避難期間の長期化や車中泊を含む屋外避難の増加を招いた。

前震

発生日時	平成28(2016)年4月14日21時26分
地震の規模	M6.5
震度 7	益城町
震度 6強	なし
震度 6弱	熊本市、宇城市、西原村ほか2市町

本震

発生日時	平成28(2016)年4月16日1時25分
地震の規模	M7.3
震度 7	益城町、西原村
震度 6強	熊本市、宇土市、宇城市、大津町、南阿蘇村ほか3市町
震度 6弱	阿蘇市、御船町ほか9市町

人的被害・住家被害の状況

人的被害

死者	275人
直接死	50人
災害関連死	225人
重軽傷者	2,739人

住家被害

全壊	8,657棟
半壊	34,489棟
一部破損等	155,509棟
計	198,655棟

(令和7(2025)年4月時点。※平成28年6月に発生した大雨による地震関連被害を含む)

ONE PIECE熊本復興プロジェクト

熊本県では、熊本地震からの復興の原動力となるよう県内9市町村に10体の「麦わらの一味」像を設置しています。震災遺構とともに像も巡ってみませんか。



©尾田栄一郎/集英社

<https://op-kumamoto.com/>



熊本地震震災ミュージアムホームページ
<https://kumamotojishin-museum.com/>



熊本地震震災遺構周遊アプリ IKOU
<https://op-kumamoto.com/ikou/>

iOS版

← アプリをダウンロード(インストール)してください。 →



Android版

熊本災害デジタルアーカイブ

<https://www.kumamoto-archive.jp/>



熊本県観光サイト もっと、もーっと!くまもっと。
<https://kumamoto.guide/>



熊本地震 震災ミュージアム
Kumamoto Earthquake Museum

記憶の廻廊

1 くもとし
熊本市

見せる復興の歩み

熊本地震により、熊本城は、石垣の崩落や建築物の倒壊など甚大な被害を受けました。現在、特別公開を行っており、被害状況や復旧工事の様子を見学いただけます。

動植物園では、施設の被害に加え、一部の動物は県外の動物園への避難を余儀なくされました。現在は園内にて、復旧の道のりを写真パネルで展示しています。



熊本城



熊本市動物園



お問合せ先

熊本市役所 ☎ 096-328-2111

2 うとし
宇土市

後世へ語り継ぐ防災拠点の大切さと災害への備え

宇土市では、熊本地震により防災拠点である市庁舎が損壊し、一時的に行政機能が停止しました。防災拠点を失った状態で被災者支援や復旧対応を行った経験から、災害時に住民の生命を守る防災拠点の大切さを後世に語り継ぎます。

また、住民自身が日頃から災害に対する備えを意識できるよう自助、共助の大切さについても発信しています。



宇土市役所新庁舎



船場橋



お問合せ先

宇土市役所 ☎ 0964-22-1111

3 うきし
宇城市

災害に強いまちづくりを目指して

宇城市では、2回の震度6強の激しい揺れ、1,500回近くの余震に見舞われ、家屋などが倒壊する地区が続出するなど甚大な被害を受けました。

一日も早い生活再建を目指して、災害公営住宅の建設や地域の防災拠点として市内6か所に防災拠点センターを整備し、災害に強く安全で安心なまちづくりを推進しています。



松橋東防災拠点センター(敷地)



松橋東防災拠点センター(建物)



お問合せ先

宇城市役所 ☎ 0964-32-1111

4 あそし
阿蘇市

明日へつなぐいのちと暮らし

阿蘇市では、震度6弱の激しい揺れに見舞われ、道路の寸断や多数の家屋の倒壊、山々の崩落・地割れなど甚大な被害を受けました。

阿蘇火山博物館では、阿蘇の火山活動をはじめ、地震などの災害の経験・教訓をもとに、阿蘇の人々の暮らしを後世に伝える活動を行っています。



阿蘇火山博物館(外観)



阿蘇火山博物館(内観)



お問合せ先

阿蘇市役所 ☎ 0967-22-3111

記憶の廻廊 MAP



各二次元コードを読み取ると、拠点の住所や詳しい説明などが記載されている特設ページが閲覧できます！

中核拠点

熊本県防災センター(熊本市)

熊本地震や令和2年7月豪雨など熊本県で発生した災害の経験や教訓、災害発生メカニズム、防災の取り組みなどを学ぶことができます。



熊本県防災センター

旧東海大学阿蘇キャンパス(南阿蘇村)

旧東海大学阿蘇校舎1号館と地地震断層を震災遺構として保存するとともに、熊本地震震災ミュージアム KIOKUを整備しました。KIOKUでは、熊本地震の被害の状況、その発生メカニズム、防災について学び、人と自然の共生について考えを深めることができます。

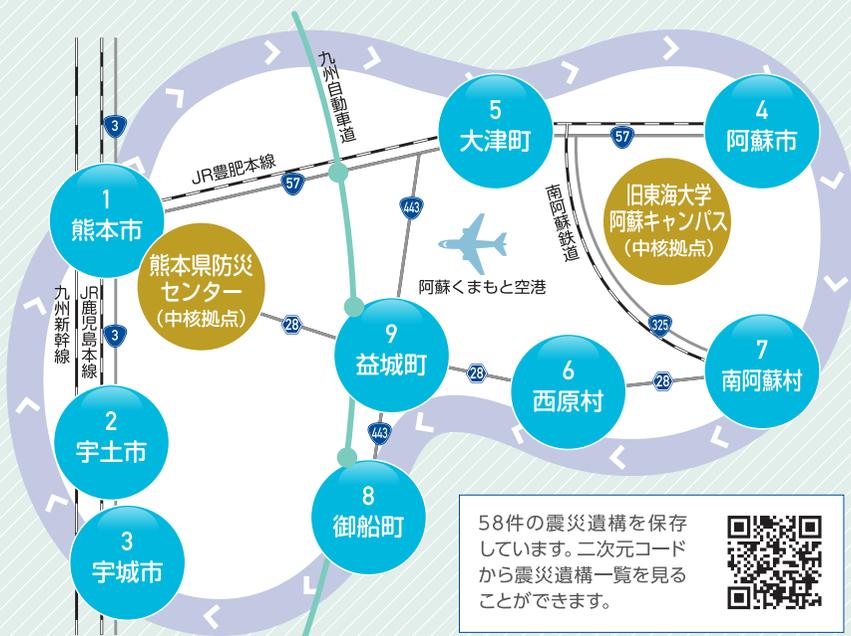


旧東海大学阿蘇キャンパス



お問合せ先

熊本県庁 ☎ 096-383-1111



58件の震災遺構を保存しています。二次元コードから震災遺構一覧を見ることができます。



6 にしはらむら
西原村

「地域コミュニティ」が村を救う

熊本地震本震で震度7を観測した西原村は、すべての住家が被災するなど甚大な被害を受けました。しかし救助や避難所、応急仮設住宅、集落再生、災害公営住宅など様々な場面で長年育まれた地域コミュニティが村を救い、迅速な復旧と創造的復興を支えてきました。

地域コミュニティの大切さを改めて発信し、災害の経験を後世に教訓として伝承します。



小森仮設団地B棟みんなの家



被災したガードレール



お問合せ先

西原村役場 ☎ 096-279-3111

7 みなみあそむら
南阿蘇村

南阿蘇村 復興の軌跡

南阿蘇村では、大規模な山腹崩壊や地すべりなど山間地特有の災害に加え、交通インフラにも甚大な被害が発生しました。

村内に点在する9つの震災遺構を整備・活用し、防災・減災を学ぶプログラムも実施しています。



落橋した旧阿蘇大橋



ずがる数鹿流崩れ(大規模山腹崩壊)



お問合せ先

南阿蘇村役場 ☎ 0967-67-1111

8 みふねまち
御船町

歴史と震災の記憶を後世に

前震の震源地と言われている御船町は、町全体の3割以上の世帯が半壊の被害を受けました。

休館を余儀なくされた御船町恐竜博物館や一部崩落した八勢目鑑橋をとおり、熊本地震の経験・教訓を伝えていきます。



御船街なかギャラリー



八勢目鑑橋



お問合せ先

御船町役場 ☎ 096-282-1111

5 おおづまち
大津町

絆をつなげ! 大津町

大津町は古くから交通の要所として栄えてきましたが、町内を走る鉄道や道路に大きな被害を受けました。また、建物はもちろん、地域で護る文化財にも甚大な被害がでました。

しかし、被害を受けながらも先人たちの思いをつなぎ、立ち上がった人たちが、地域の人々の絆と教訓を伝えていきます。



大津町役場新庁舎



瀬田神社と巨石



お問合せ先

大津町役場 ☎ 096-293-3111

9 ましきまち
益城町

「7×2」から伝えたいこと

一連の地震活動において観測史上初となる「震度7を2回」経験した益城町では、国指定天然記念物「布田川断層帯」3か所をはじめ、町内各地に震災遺構が点在しています。

これらの震災遺構をとおり震災の経験や教訓を広く伝承し、災害における自助・共助・備えの大切さと地震との共存、災害と不可分の関係にある自然の恵みについて伝えていきます。



益城町役場新庁舎



国天然記念物「布田川断層帯」(杉堂)



お問合せ先

益城町役場 ☎ 096-286-3111